

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (四国)	◎	通信会社（社員）	・ワクチン接種者が増えるにつれ、経済の動きも活発化していくと考える。
	○	商店街（事務局長）	・大都市の感染者数が増え、第5波が懸念されるため、予断を許さないが、ワクチン接種が大きく進んでいることから、今秋には旅行や実店舗での買物が増えると期待している。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・祝い事や法事など、少人数で集まる行事の予約が増えてきている。
	○	百貨店（販売促進）	・ワクチン接種が進むことで、これまで我慢してきた購買意欲が旺盛になり、地元客だけではなく観光客が少しずつ戻ってくると思われる。
	○	コンビニ（店長）	・当店は来客数が戻り、客の様子も日常を取り戻したと感じている。休日には行楽の家族連れもみられるようになっている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でかなり売上が厳しかったが、ワクチンのお陰で多少は収束がみえてきており、売上や景気も良くなると思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・元々売上が尻上がりになっているところに、公務員や民間企業のボーナス支給などのプラス要因が加わり、多少は売上が伸びるのではないかと期待している。
	○	衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染者数が減少していけば、業況がやや改善すると考えている。
	○	家電量販店（店員）	・エアコン等の季節商材が動き始め、ボーナス商戦で販売数の増加が見込まれる。
	○	乗用車販売店（役員）	・年末に向けワクチン接種が進むことは確実になり、人の流れも回復してくるので、売上はやや良くなっていくと考える。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・お中元や家飲みで飲物が売れるので、少し売上が上がると思う。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種が進み、新規感染者数が現在の水準で抑えられるなら景気はやや上向くと思う。しかし、東京オリンピック等で感染者数が増加し、緊急事態宣言が再度発出されるなら、景気は冷え込むだろう。
	○	一般レストラン（経営者）	・Go To Eatキャンペーンは使用期限があるので、客足は少し戻ると思う。
	○	観光型旅館（経営者）	・当県の感染状況は落ち着き、県内旅行限定での宿泊補助がスタートしたことから、人の動きは少し回復すると思われる。
	○	旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種の拡大や東京オリンピック開催決定により、社会全体が少しずつ通常の生活に戻るように思う。
	○	通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響による自粛は余り感じられなくなってきた。また、特価商材を用意したところ、客の反応が良かったことから、消費意欲はあると感じた。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の大幅な減少がないからなのか、来客数は減少傾向である。今後、ワクチン接種による来客数の増加に期待したい。
	○	観光遊園地（職員）	・ワクチン接種の浸透に伴い、感染再拡大を防ぎながら経済活動が再開されることによって段階的にはあるが、景気の回復に期待できる。
	○	設計事務所（所長）	・製造業の設備投資や土地を探している企業が増えてきている。
	□	商店街（代表者）	・来月は東京オリンピックが始まり、日本全体が盛り上がる状況になるかもしれないが、新型コロナウイルスの感染が収束する気配がないので、このままの状態がしばらく続くと思う。人出もかなり制限されると思う。
□	商店街（代表者）	・首都圏では新型コロナウイルス感染症の再拡大の兆しが見られ、人々の動きが活発になっていない。東京オリンピックは無観客になる可能性もあり、先行きが不透明な状況が続いている。	
□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・景気が悪い状況に変化がなく、打つ手がない状況である。ワクチンが行き渡り、好転するのを待つしかないと思われる。	

□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・ワクチン接種は進んでいるが、周囲は、東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況を見ないと何も行動できないと言っている。変異株の感染者数が増えているので、油断はできないし、まだまだ経済は元に戻らない。
□	百貨店（営業管理担当）	・変異株による新型コロナウイルスの感染再拡大や東京オリンピック後の感染状況による行動規制等の影響が懸念されるため、先行きは不透明である。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、景気の先行きを見通すことは難しい。
□	スーパー（企画担当）	・ワクチンの普及がかなり広がらない限り、外食の需要は戻りづらいと推測する。買物に出る頻度は少しずつ増加するかもしれないが、まとめ買いの傾向は続いていくと推測する。
□	コンビニ（商品担当）	・ワクチンが行き渡ればよいが、日本は諸外国と比較して遅れており、イベントなども縮小傾向である。今後、変異株等のまん延が懸念される。
□	コンビニ（総務）	・ワクチン接種が進めば好転するかもしれないが、感染拡大により、一定期間は再度悪化するという一進一退の状況が続くと思う。
□	家電量販店（副店長）	・当地域では新型コロナウイルスの感染者は少ないが、来店や売上が落ち込む状況が続くと予想される。
□	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響と半導体不足で、景気は現状のままだと思われる。
□	乗用車販売店（従業員）	・中小企業でも7月からワクチンの職域接種がスタートすると聞いている。景気の回復は、東京オリンピック終了後のワクチン接種状況と各種の変異株をどこまで抑えられるか次第で決まると思われる。
□	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足もあり、景気回復にはしばらく時間が掛かる。
□	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今のワクチンの予約状況等をみていると、好転しない気がする。今の状況のまま何とか持ちこたえてくれたらと考えている。
□	タクシー運転手	・当県では新型コロナウイルスの感染が拡大していたことから、景気の先行きは変わらないと判断している。感染者数は他県と比べて少ないが、10万人当たりの感染率は全国で7番目である。現状を考えると東京オリンピックもあるが、通常の人の動きに戻らないと判断する。
□	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種率が高まっていくものの、大都市圏の緊急事態宣言解除及び東京オリンピック開催等による人の流れの活発化により、感染者数急増の傾向が予想される。景気は現状から余り変わらないと予想する。
□	美容室（経営者）	・現在の人の動きで新型コロナウイルスの感染がまた広がるのか、ワクチン接種で状況が落ち着くのか、毎月の分析が本当に難しい。
▲	商店街（代表者）	・市も県も街づくりの原点から見直す時代であるとの認識がない。70年前の戦火で焼き野原だった時代から再スタートするくらいの発想の転換も必要である。
▲	スーパー（店長）	・ワクチン接種が進み内食需要が少なくなると予測する。
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、拡大していた内食需要が減少する。
×	コンビニ（店長）	・来客数が増加する見込みは本部の施策次第だと感じており、コンビニ業界は構造的な見直しが必要な段階になっていると思う。ワクチン接種が始まり、売上は改善すると見込んでいたが、現状からみるとまだ程遠いと判断する。
×	タクシー運転手	・当地域は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、夜の飲食店は遅くまで営業している。しかし、関東では変異株が増えているので、今後全国的にまん延し、時短営業に追い込まれることを懸念している。暑くなり、お遍路の仕事はなく、今よりもっと悪くなるような気がする。
×	美容室（経営者）	・東京オリンピックや夏休みで新型コロナウイルスの感染者数が増えて売上に影響が出ると思う。

企業 動向 関連  (四国)	◎	繊維工業（経営者）	・コロナ禍で、消費動向が変化しており、外出しなくても便利に買物ができるネット販売が順調である。ただ、新しい消費者がネット販売に流れているわけではなく、今まで小売店で当社商品を買っていた、商品内容が分かっている消費者が当社又は取引先小売店のネットに流れている要素もあると思われる。観光地の小売店に人出が戻るのはまだ先であり、厳しい部分も多く、それらの小売店が元どおりになるか、不安が大きい。
	○	食料品製造業（経営者）	・ワクチン接種が進んで行き、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、外食や観光業態の景気も徐々に回復していくと推測する。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・ここ3か月の大手ハウスメーカーの契約者数が大幅に回復するなど住宅の販売契約者数は大幅に伸びてきている。ただ、ウッドショックの影響が第3四半期で出るとの見込みがあり、安心はできない。このまま木材の輸入が3割程度ダウンすれば、住宅の着工も遅れると予想されている。
	○	鉄鋼業（総務部長）	・受注獲得までには至っていないが、案件が決まれば上向くと期待はできる。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資及び再生可能エネルギー関連プロジェクト等により客の投資マインドに回復の動きがみられる。一方で、世界的な電子部品供給不足の影響も懸念される。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・バイオマス発電が注目されているなか、最近木は木の値段が高騰しているが、私は竹で燃料を作ることを考えており、その影響を受けることはないことから、景気は良くなると判断した。
	○	輸送業（営業）	・自治体によるワクチン接種が進むことで、行動制限は徐々に緩和され、消費の拡大も期待されるが、本格的な景気回復は東京オリンピック以降になると推察している。
	○	税理士事務所	・完全に新型コロナウイルスに対応できるまで不安はあるが、ワクチン接種が進んでいけば不安が取り除かれるので良くなると思う。
	□	農林水産業（職員）	・ワクチン接種は大規模接種や職域接種等もあり拡大している。一方、首都圏では新型コロナウイルスの感染が再拡大の傾向にあるなど、一進一退の状況にある。国民の半数以上のワクチン接種が終わるまでは、現状の環境が続くと覚悟しており、年内は厳しいと思う。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌ウェットシートや掃除用ウェットシートの需要は高まっているが、新規参入企業等の影響で供給力も高まっているため、売上は横ばいである。
	□	化学工業（所長）	・ワクチン接種がもっと進み、人の流れや動きが回復しなければ景気回復は難しいと考える。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・特需による販売が落ち着いた。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス次第であり、変化はないと思う。東京オリンピックの経済へのプラス効果は地方都市にはほとんど影響しないと思われる。
	□	通信業（総務担当）	・東京オリンピックや夏季祭りなどが開催されれば、景気回復の後押しとなり、当社のサービス、商材等にも良い効果が及ぶものと考えられる。しかし、そのイベント開催により新型コロナウイルスの感染が再拡大することとなれば景気回復には至らず、現状維持若しくは悪化することが想定され、3か月先は不透明と考える。
	□	金融業（副支店長）	・景気動向は新型コロナウイルスの感染状況に大きく影響を受ける。収束するためには、ワクチン接種の浸透が必須と思われるが、現状から鑑みるに、3か月後の好転は見込みが薄い。
	□	広告代理店（経営者）	・変異株による感染再拡大やワクチン接種の遅れ等により夏場のイベント等もおおむね中止になる。また、販促広告計画も慎重な取引先が多く、依然として厳しい状況が続く予想である。
	▲	建設業（経営者）	・ウッドショックによる木材の値上がりや、鉄の値上がりが響きそうである。

	▲	輸送業（経理）	・一部の客は増加しているが、全体的には出荷量が減少傾向である。
	▲	通信業（企画・売上管理）	・前年同時期より増える見込みだが、東京オリンピックの影響が地方テレビ局にプラスに働く見通しはない。
	×	—	—
	◎	—	—
雇用 関連  (四国)	○	人材派遣会社（営業）	・新型コロナウイルスの影響にもよるが、東京オリンピック効果などで消費者ニーズが高まり、流通や公共交通、観光等のサービス業界を中心に雇用も拡大し、景気が少し良くなると考える。これからはリモート会議、RPA化など非接触型のビジネススタイルの働き方がより求められる。
	○	職業安定所（求人開発）	・就職件数は増加し、求人充足率が上がっている。また、週末の日中に市内中心部の人出が新型コロナウイルス発生以前のような状態になっている。現在当県ではワクチン接種の1回目を終了した高齢者の割合が約40%、2回目の終了者は約10%ではあるが、市内中心部の百貨店で高齢者の買物客をかなり見掛けた。
	○	民間職業紹介機関（所長）	・ワクチン接種が順調に進んでいる。
	○	学校〔大学〕（就職担当）	・ワクチンの職域接種等の効果により、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、それに伴って景気も良くなると期待できる。
	□	求人情報誌（営業）	・大幅な景気の回復を期待できる要素がなく、景況感は現状維持で低水準のままと思われる。
	□	求人情報誌制作会社（従業員）	・夏休みに向けて学生アルバイトの募集は増加するが、正社員の募集は減少すると予想される。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現状では良い兆しが見えない。新型コロナウイルスの終息と個人消費の伸びに期待したい。
	▲	—	—
	×	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックの開催で物流などに影響があり、新型コロナウイルスの感染者数増加による景気の悪化を懸念する。